

第4回“ハイツカ湖地域ビジョン推進委員会”議事要旨

【開催日時】

平成21年2月22日(日) 15:00～16:30

【開催場所】

知和ウェットランド 知和管理棟

【出席者】

敬称略

委員長	中越 信和	広島大学国際環境協力プロジェクト研究センター長 教授
委員	上垣 良三	安田自治振興会 会長
委員(代理)	伊藤 裕啓	のぞみが丘運営協議会
委員	和田 芳治	木屋地区自治振興区 区長
委員	前川 俊清	県立広島大学 生命環境学部 准教授
委員	岩水 正志	灰塚ダム知和ウェットランド 知和管理棟 館長
委員	熊原 保	社会福祉法人総領福祉会 理事長
委員(代理)	渡邊 健次	三次市 三良坂支所次長
委員	春田 正治	庄原市 総領支所長
委員	西村 元次	国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所 所長

【議事次第】

- 1．開会
- 2．開会あいさつ
- 3．第3回委員会議事要旨の確認
- 4．これまでのビジョンの取り組みの報告と振り返り
- 5．ハイツカ湖地域ビジョン第1版についての協議
- 6．ビジョン策定に向けた今後の取り組みの流れについて
- 7．今後のビジョンの推進について
- 8．その他
- 9．閉会あいさつ
- 10．閉会

【説明資料】

資料-2 第3回ハイツカ湖地域ビジョン推進委員会 議事要旨

資料-3 これまでのビジョンの取り組みの振り返り

資料-4 ハイツカ湖地域ビジョン第1版（案）

資料-5 ビジョン策定に向けた今度の取り組みの流れ（案）

資料-6 今後のビジョンの推進について（案）

参考資料-1 ハイツカ湖地域ビジョンづくりのための提言（案）

参考資料-2 各取り組みメニューにおけるダム管理者の参加・支援について

参考資料-3 ハイツカ湖地域ビジョン第1版 資料編（案）

【議事要旨】

(1)ハイヅカ湖地域ビジョン第1版についての協議について

ビジョン第1版に関する意見

- ・ハイヅカ湖地域連絡協議会で、美しいダムづくり、安定兼業先の創出、人の確保を軸に話し合っただけで決めたのが「ハイヅカ湖地域ビジョン作りのための提言(案)」である。これらを実現するためには、歓交をすること、安定兼業先の理想の福祉産業を確立すること(矢田地区を理想の福祉団地にすること)が大切である。また、福祉施設を作るためには温泉(発掘)が必要である。また、地域の人たちが集まれる場所(里人)が必要でこれがセーフティーネットとなる。これらを認知してもらうために「抱きしめてエコハイヅカ」を実現する必要がある。(和田委員)
- ・和田委員の意見を整理すると、以下の3つの観点が考えられる。
 - 協議会意見が本文に反映されているか
 - ビジョンで出来そうにないものは書けない(例えば、温泉発掘等)
 - ビジョンにしたいことを書くことは構わないが、だれに読まれるか考える必要がある。この意見について、熊原委員はどのように考えられるか。(中越委員長)
- ・P8に書かれている福祉のメニューは2年でやっていこうと思うことが書かれている。「その他」の方に書かれているメニューを実現しようと思うと時間がかかってしまう。和田委員の福祉に関する意見は、「その他」に入っており、これらを実現するには3年~10年の歳月を要する。参考資料(「ハイヅカ湖地域ビジョン作りのための提言(案)」)で書かれている内容は本文に入っていると考える。(熊原委員)
- ・P16(重点的な取り組みの内容(LP以外のもの))以降に、今出ている意見をいれてはどうか。(上垣委員)
- ・P5に示す関連図にも「ハイヅカ湖地域連絡協議会」と協力を得ながらビジョンの策定推進を進めていくことにしている。ハイヅカ湖地域連絡協議会で話し合われた内容で本文に反映されていないものは反映していきたい。(事務局)
- ・現在書かれている本文は、地域の現状(やりたいことはあっても高齢のため出来ないなど)を踏まえて書かれていない気がする。(伊藤委員)
- ・「やれる事からやってみよう」、「やれる人からやってみよう」というのは裏を返せば、やれない人、やれない事は何もしなくて良いようにとれる。理想があって、方法が伴っていて、それがどのように地域に密着するのが見えていない気がし、本文もそこが抜けている気がする。(前川委員)
- ・外向けの資料と地域の方向けの資料は分けるべきと考える。地域の方向けとしては資料編が良いのではないかと。普及版には、地域の考えを噛み砕いて入れることが良いと思う。地域の方々には、地域の生活に加えてダムが出来たことによる生活の変化として捉えていきたいのだが、ダム(国土交通省)が前提にあつてその他のこと、例えば農林水産省管轄のことは書きづらい。地域の産業として農業が有り、そこにダムが出来たという表現は出来ると思う。(中越委員長)
- ・国土交通省としては地域の方々にダム資源を活かして頂きたいという気持ちがある。地

域の方々には地域を活かした活性化を望んでいることが分かった。地域の大事な思いが現在の本文には入っていないことが分かった。(西村委員)

- ・ハイヅカ湖地域連絡協議会についての文章は反映させていきたい。(事務局)
- ・今までの議論の対応として、ビジョンをつくる過程で様々な重要な意見があった。それについては資料編に掲載する。ただし、「はじめに」のところに、このことをきちんと書いて、どこかに、「ハイヅカ湖地域ビジョン作りのための提言(案)」の「むすび」の部分抜粋して入れることで如何か。(中越委員長)
- ・異議なし。(委員全員)

その他

- ・ウェットランドのプログラムを作って、学校に流して欲しい。(中越委員長)
- ・了解した。(岩水委員)
- ・教育委員会にも情報提供している。(事務局)

表紙について

- ・カタクリの写真がある表紙に全会一致で決定した。

その他、中越委員長からの提案

- ・A3折のページは見開きにしていただきたい。
- ・ページの右側が奇数ページになるようにすること。
- ・裏面の空白のところにダム設計図、諸元を入れること。
- ・裏面の年月日の下にハイヅカ湖の地図を入れること。
- ・本文中に赤字を使用しているが、他の色にすること。

(2)ビジョン策定に向けた今後の取り組みの流れについて

- ・ビジョン第1版の修正については、事務局と委員長に一任して欲しい。(中越委員長)
- ・異議なし。(委員全員)
- ・ビジョンの修正版は委員に事前にお送りするので3月上旬までに意見があれば返して欲しい。その結果を修正し、パブリックコメントにかけ、ビジョン第1版策定を3月末にしたいと考えている。(中越委員長)

委員全員了承。

(3)今後のビジョンの推進について

- ・ハイヅカ湖地域ビジョン推進委員会は年1回、年度末に実施する予定である。内容としては分科会の活動状況の報告、取り組み支援等になる。(事務局)
- ・異議なし。(委員全員)
- ・年度途中で分科会の活動としてやりたいことが決まった場合、メール等による各委員への紹介を行うこととし、年度末まで待たなくて良いと思うが如何か。(中越委員長)
- ・それでよい。(事務局)

以上